



私たちががんサミットチームが一丸となってがん体験談を語り皆様にお伝えします。
山口県で健康でいきいきと暮らせるようにがん向き合う時間をつくりませんか。



“安心して暮らせる社会”を目指してオストメイトの支援をしています

たかしたけんじ

高下憲治さん

大腸がん体験者・日本オストミー協会山口県支部

病気や事故などにより、お腹に排泄のための「ストーマ(人工肛門・人工膀胱)」を造設した人を「オストメイト」と言います。障がい者としての生き辛さに他人には言えない(排泄に関する)サポートが必要です。障がい者が社会から取り残されない工夫や災害時に備えることの重要性をお伝えしています。2026年全国大会(山口大会)開催に取り組んでいます。



若い世代にがんのことを伝え、ウィッグで“笑顔の贈り物”を届けします

はだの さなえ

波多野早苗さん

患者遺族・乳がん体験者：ポポメリー

息子のがん告知を受けて闘病に寄り添った経験から若い世代(AYA世代)に向けて検診の大切さを伝えています。福祉美容師の自分が乳がんの抗がん剤治療を経験して、脱毛になった方へ笑顔届けられるようウィッグの管理と譲渡をはじめました。社会に一步踏み出すお手伝いと繋がった方の想いも一緒に紡いでいます。



がん患者さんに寄り添う“笑顔支援”と“いのちの大切さ”を伝えています

ふじもといくえ

藤本育栄さん

乳がん、慢性骨髄性白血病体験者：ポポメリー

39歳で乳がんを体験してがんに向き合う山口の団体「ポポメリー」を設立しました。慢性骨髄性白血病を宣告され内服抗がん剤による長期療養中です。がんとなった看護師が働く世代の「がんとの共生」を真剣に考えてます。イベント企画では友好団体と繋がって楽しく活動中。9月のがん征圧月間に市民公開講座を開催します。



お隣の島根県からも山口県を“ピアサポート”で応援をしています

のいねかずお

野稲和男さん

患者家族・体験者：ほっとサロン益田

島根県益田市の益田赤十字病院でがんサロンを運営しています。女性だけの話せる場“すずらんの会”には女性特有の悩みを話される方が多く集まります。がんのことが話せるほっとできる時間と居場所をサロンでつくっています。地域活動でも自己の体験とがんを知ってもらうがん教育やがんピア(=仲間)サポートを行っています。

